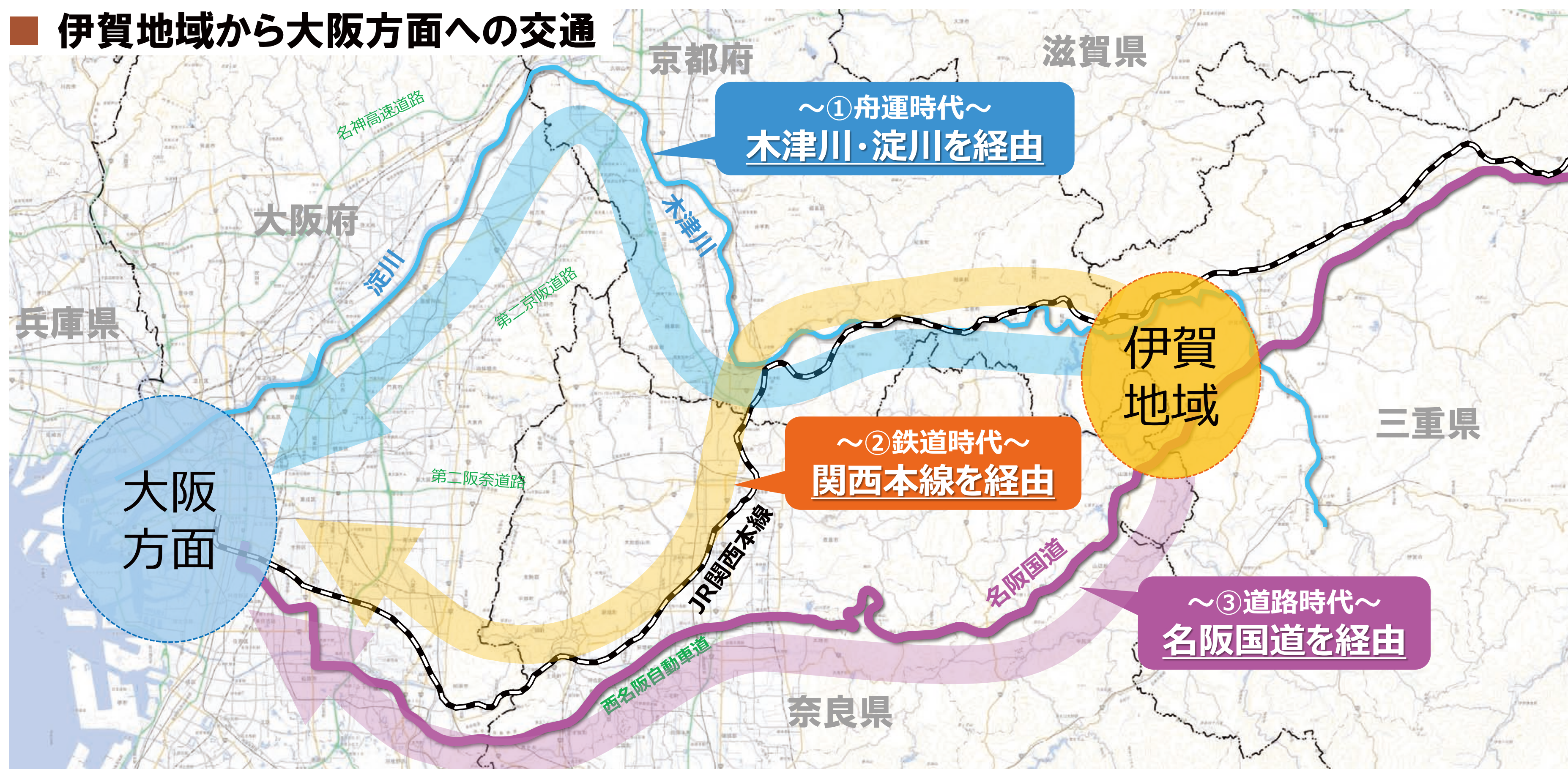


名阪国道と物流の変革

移動の高速化をもたらした名阪国道

伊賀地域から大阪方面への交通

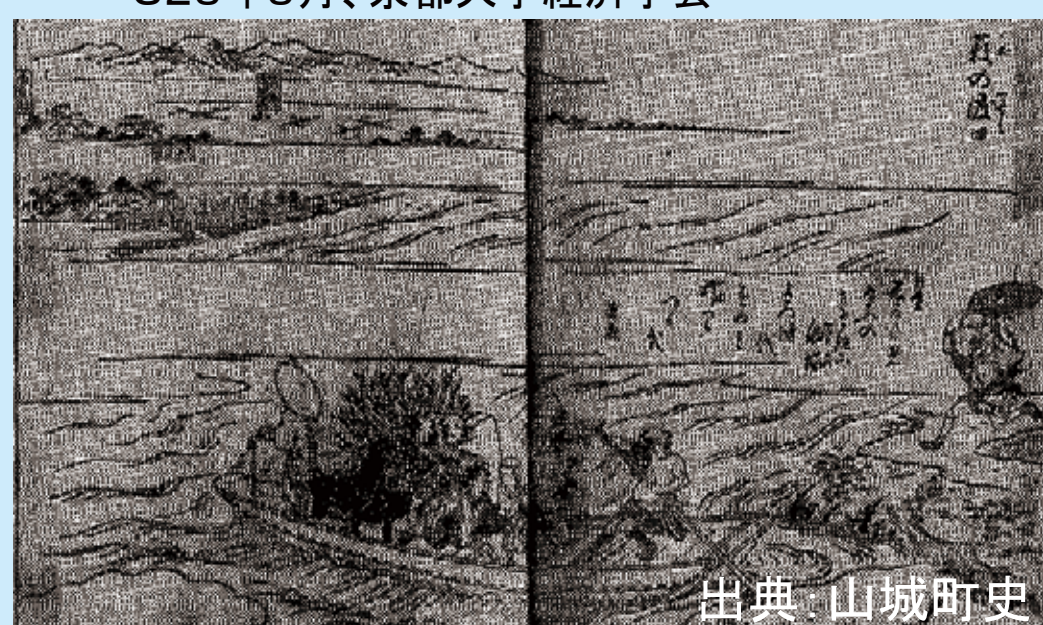


～時代とともに変革した物流～

① 舟運時代【～明治初期】

- 江戸時代には商品流通が発達し、**木津川の水運**は伊賀上野地方の物産を京阪地方に輸送する**唯一の交通路**でした。

出典：国土交通省HP及び「経済論叢 第72巻第2号」
—S28年8月、京都大学経済学会—



出典：山城町史

② 鉄道時代【明治中期～】

- 周囲と隔てられていた伊賀地域は、**鉄道建設によって新たな交流**が生まれました。
- 1907年に関西鉄道が国有化され名古屋と大阪を連絡する現在の関西本線となりました。

出典：伊賀市史



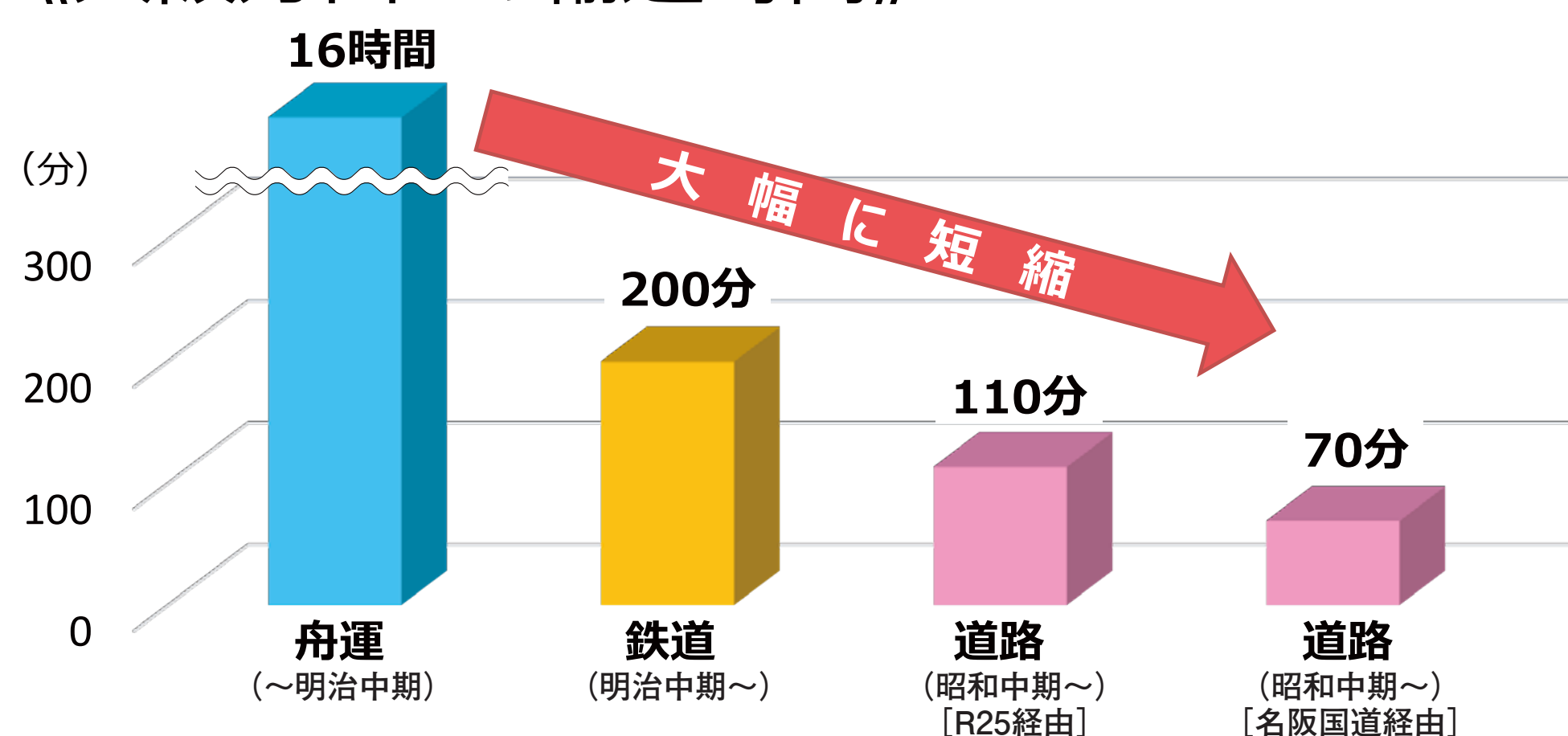
伊賀市提供（JR関西本線の汽車の状況）

③ 道路時代【昭和中期～】

- 名阪国道暫定開通によって、**輸送の主体は鉄道から道路にシフト**してきました。
- 現在に至るまで輸送の主体を担っています。



《大阪方面への輸送時間》



〔出典〕

舟運：京都府立山城郷土資料館へのヒアリング調査より

鉄道：汽車汽船旅行案内（明治40年3月）

道路：H22道路交通センサス速度